

伊勢湾・三河湾におけるスナメリの ストランディング調査および収集した試料を活用した食性解析

古山 歩（三重大学大学院生物資源学研究科）

スナメリ *Neophocaena asiaeorientalis* は、日本の内湾や沿岸域に生息する小型ハクジラ類である。本種は、頻繁にストランディング（生死を問わず漂着・座礁・迷入）することが知られており、主要な生息海域の一つである伊勢湾・三河湾においては年間 30～80 件程度のスナメリのストランディングが発見されている。伊勢湾・三河湾では、周辺の大学、水族館、博物館、行政によって構成される伊勢湾・三河湾ストランディングネットワークによって、スナメリのストランディング調査が積極的に行われており、調査によって収集されたデータや試料を活用した研究も行われている。ストランディングするスナメリから得られるデータや試料は生態研究において貴重なものであるが、ストランディングする個体の体長や発生する季節には偏りがあり、均一なデータが揃えづらいことや、死亡漂着の際には腐敗が進み適切なデータや試料を収集できないといった問題点も存在する。

本講演では、これまでに収集されたデータをもとに伊勢湾・三河湾におけるスナメリストランディングの傾向やそれに伴う研究遂行上の課題を紹介するとともに、ストランディング個体から得られた試料を活用した研究事例として本種の食性解析について紹介する。